

新年のごあいさつ



清須市長

永田 純夫

明けましておめでとーございます。

市民の皆様におかれましては、希望に満ちた令和2年の清々しい新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。また、日頃は市政運営にご理解とご協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、5月に徳仁親王が第126代天皇に即位され、元号も「平成」から「令和」に改元となり、新しい時代の幕明けとなりました。

その一方で、8月に九州北部豪雨、9月には数百年が停電に見舞われた台風15号、そして10月には、1都12県に大雨特別警報が発令された台風19号が発生し、多くの尊い命が失われたことは記憶に新しく、犠牲になられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被害に遭われた方々の再起を願いつつ、引き続き防災対策に傾注する意を強くする思いであります。

今年はいよいよスポーツの祭典であります東京

オリンピック・パラリンピックが7月24日から開催され、オリンピック聖火リレーが全国47都道府県を巡る中で、本市は愛知県の中の15市に選ばれました。前回の東京オリンピックが開催された昭和39年には、高速道路や新幹線などのインフラ整備が進み、家庭ではカラーテレビの普及など生活面でも大きな変化が生まれ、オリンピックを契機に日本が好景気に沸きました。今回のオリンピック・パラリンピックでもインフラ設備やバリアフリー対策などによる雇用の増加、ハイビジョンテレビなどの購入による消費の拡大など大きな経済効果が期待されるところであります。

さて、本市におきましては、平成12年の東海豪雨以降、都市型水害への対応を進めてまいりました。雨水貯留対策として、今年度中の完成を目指し、新川中学校に雨水貯留施設を整備しております。これにより、新川流域水害対策計画で予定していた雨水貯留施設が全て整備されることとなります。

子育て施策としては、昨年10月から開始された幼児教育・保育の無償化や子育て世帯の転入増など、保育需要のさらなる拡大を想定する中、保育士の確保に加え、認定こども園の導入や小規模保育園の誘致に努めるなど、引き続き保育園の待

機児童ゼロを維持してまいります。

建設事業としては、周辺自治体への火葬依存や将来の火葬需要の増加等、今までの課題でありました斎場建設につきまして、建設地周辺地区の皆様のご理解とご協力のもと、昨年9月から建設工事に着手しております。また、現在4カ所で行われております区画整理事業につきましても、早期完成に向けて全力で取り組んでまいります。

観光事業では、平成の時代を歩んできた、清須のシンボルである清洲城及び11月にリニューアルオープンする、あいち朝日遺跡ミュージアム周辺の地域資源の調査を踏まえ、歴史のまちとしてのにぎわい創出に向けて取り組んでまいります。

そして、今年は、第2次総合計画の後期計画がはじまる節目の年となります。市民の皆様が安全で安心して暮らせる「まちづくり」をはじめ、子育てのしやすい「まちづくり」など、7つの政策実現に向けて着実に取り組んでまいります。これまでの「まちづくり」の歩みを止めることなく、市の総合力を一段と高め、「力強い清須」の実現を目指してまいりますと考えておりますので、引き続き市政に対するご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、新しい年が市民の皆様にとって輝かしい飛躍の年となりますよう心よりご祈念申し上げます。新年のごあいさついたします。

新年のごあいさつ



清須市議会議長

久野 茂

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、令和2年の輝かしい新春を健やかに迎えのことと、謹んでお慶び申し上げます。

平素は、市議会活動並びに市政運営に対しまして、温かいご理解と絶大なるご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

新たな年を迎えるにあたり、議会の責務を遂行するために全議員の総力を結集し、清須市の更なる発展を願い、第2次総合計画の基本理念であります、「安心」・「快適」・「魅力」・「連携」を基に、本市の将来像である「水と歴史に織りなされた安心・快適で元氣な都市」の実現を目指し、引き続き邁進する覚悟でございます。

市議会といたしましては、これまで同様、市民の皆様方の声に耳を傾け連携を一層密にし、市と一体となって進めるべきものについては、議員一丸とな

り市と協力して積極的に進めるとともに、時には厳しい意見も申し上げ、議論を尽くし、監視役としての役割も果たしてまいる所存でございます。

昨年、8月の九州北部豪雨、9月には台風15号による大規模な停電、10月には台風19号により13都県に大雨特別警報が発令されるなど、各地が多くの自然災害に見舞われており、他人事とは思えない状況であります。本市におきましても、頻発しておりますゲリラ豪雨と称される集中豪雨や近い将来発生が予想されております南海トラフ巨大地震などの大規模災害に備え、更なる防災力の強化を図っていかねばなりません。

また、これまで進めて参りました雨水貯留対策では、今年度完成予定の新川中学校における施設整備完了に伴い、新川流域水害対策計画に定める雨水貯留施設整備の完了を迎えます。一方、長年の課題でありました斎場建設につきまして、建設地周辺地区の皆様方のご理解とご協力によりまして、昨年より建設工事に着手いたしております。その他、昨年10月から開始されております幼児教育・保育の無償化を始め、今年11月にリニールオーブン予定の「あいち朝日遺跡ミュージアム」を活用したにぎわい創出など、積極的に取り組まなければならない課題が山積いたしております。

今年は、第2次総合計画後期計画がスタートす

る節目の年でもあります。限られた貴重な財源をどのような施策に充てるべきか、市議会といたしましても議員一人ひとりの責務を全うし、議論を尽くし、将来の清須市のあるべき姿をしっかりと見定めて市政に提言していくことが、私たち議員の重要な使命であると考えております。

私たち議員は、複雑多様化する行政需要を適確に把握するとともに、議会の情報を適確にお伝えし、議会の公開性・透明性を高め、開かれた議会を目指してまいります。

結びに、本年も変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。市民の皆様のご多幸とご健勝を心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。



新春を迎えて

愛知県知事 大村 秀章



あけましておめでとうございます。

昨年は、全国植樹祭やラグビーワールドカップ、愛知県国際展示場「Aichi Sky Expo」のオープンなどを通じ、愛知のプレゼンスを一層高めるとともに、ジブリパークや愛知県新体育館の整備についても取組を進めるなど、「進化する愛知」としての大きな一歩を踏み出した年でした。

世界は、グローバル化やデジタル化の進展などダイナミックに変化しています。愛知県が、日本の成長エンジンとして、我が国の発展をリードし続けていくためには、そうした時代の波を乗り越え、新たな付加価値を生み出していかなければなりません。

今年も、様々な国・地域等と連携し、最先端の技術・サービスを取り込みながら、自動車、航空宇宙、ロボットなどの産業集積を加速するとともに、スタートアップを起爆剤にイノベーションを創出していくことで、「国際イノベーション都市」への飛躍を目指してまいります。

また、リニア開業を見据えた社会インフラの整備、農林水産業の振興、教育、女性の活躍、医療・福祉、環境、雇用、多文化共生、防災・交通安全、東三河地域の振興など、県民の皆様の生活と社会福祉の向上にも力を注ぎ、SDGs（エスディーゼーズ）が目指す「誰一人取り残さない」社会を実現してまいります。

今年は、愛知県で、ロボカップアジアパシフィック大会・ワールドロボットサミット、あいち技能五輪・アビリンピック、世界ラリー選手権などが予定されています。万全の準備を整え、国内外に愛知の魅力をPRしてまいります。

こうした取組を通じ、「日本一元気な愛知」の実現に全力で取り組んでまいりますので、県民の皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

新年のごあいさつ

西枇杷島警察署長 中 神 一 明



新年明けましておめでとうございます。

皆様には、御家族共々、清々しい新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

また、平素から警察行政各般にわたり、御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、植樹祭、ラグビーワールドカップ、G20外相会合等が開催されるなど、多難な一年となりましたが、愛知県警察の総力を挙げて取り組んだ結果、所期の目的を達成することができました。

西枇杷島警察署におきましては、各自治体、関係機関・団体の皆様のほか、地域住民の皆様から献身的なお力添えをいただきつつ、署員一丸となって犯罪抑止や交通死亡事故抑止等に取り組んだ結果、一定の成果を挙げることができたものと考えております。

本年も、「二市一町の安心・安全の確立」を目標に掲げ、治安情勢に的確に対応した積極的な取組を推進してまいりますので、より一層の御支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。